

8020推進財団  
助成事業

# 住民参加型成人歯科保健推進モデル事業 報告書

は～もに～ぷろじえくと



Workshop on Dental Health  
IN NIIGATA

平成17年3月  
特定非営利活動法人 まちづくり学校



発行日 2005年3月31日  
発行所 は～もに～びるプロジェクト新聞部

# 2004年のは～もに～は こんなことを やってきました。

参加手法を体験しよう  
□**郡市会訪問**  
—地域歯科保健を考える—

地域歯科保健の推進と、歯医者に対し  
広く住民参加型手法（ワークショップの手法）  
を体験してもらうため、新潟県歯科医師  
会主催の会議にお邪魔しました。

今年度は、6月の新潟地区を皮切りに上越・  
柏崎・黒塚の4ヶ所で行いました。  
毎回約30名ほどの歯医者が参加され、  
ワークショップ方式で意見交換を行いました。  
皆さん魅力や個性溢れる方々が多く、  
その情報をつないでいくことが大切だと  
再認識しました。

コミュニケーションのスキルアップ  
□**コーピング研修会**  
—三浦秀和さんをお招きして—

フアシリテーター研修と同じように、コー  
ピングについても研修会を行いました。  
コーピングも「相手の『自発的』行動を促  
進させるためのコミュニケーション技術」  
です。

最近では、医療関係者の中で、「メディアカル  
コーピング」というのをよく耳にするよう  
になりました。

歯医者のスキルアップ  
□**フアシリテーター研修会**  
—引き出す技術を体験—

フアシリテーターとは、相手から気持ち  
を引き出したり、相手の背中にあたったか  
い手を当てる人です。

私たちはいろいろな人々の意見を聞いて  
るうちに、「歯科医→患者」という一方  
行的な関係だけでは市民の需要を拾うこ  
とや、また、専門家からの知識を市民に  
伝えることは難しくなっていると気づき  
始めました。

そこで、人と人の間に入り、参加型手法  
や相手のニーズを引き出す技術、そし  
て相手との関係作りの技術を学ぶフア  
シリテーター講座を歯医者の皆さん  
を対象に開催しました。

今や住民参加の事業だけでなく、企業  
や組織の中にも、フアシリテーターの  
役割は重要とされています。

歯科関係者の「卵」を育てよう  
□**専門学校との連携**  
—教育の場へ、つながりづくり—

「ハーモニープロジェクト」が  
管轄した技術や知識を、歯医  
者さんや歯科衛生士さん  
の「卵」にも伝えようという  
試みがはじまりました。  
県内の大手専門学校と協働  
し、教育カリキュラムの中  
に組み込む検討をは  
じめました。

今年の夏期プロジェクト：◎参加型意見交換会—年代別地域自治会 2005.2.9—新潟市青年会館所 2005.2.28—北越地区 2005.3.12—◎郡市会訪問—新潟地区 2004.10—上越地区 2004.10.2—柏崎地区 2004.10.2—黒塚地区 2004.10.2—

## 一緒にやる人。 探しています。

みんなのニーズを探ろう④  
□**参加型意見交換会**  
—自治会編—

身近な地域活動と言えれば自治会活動です。  
公民館をお借りして、地域の自治会で活動さ  
れている方々にお集まりいただきました。

「虫歯になりやすさチェック」「お口の体操」な  
ど、各種体験コーナーを設け、和気あいあいと  
プログラムを進めました。  
参加者の皆さんは、やはり健康には関心がある  
ようでした。しかし、このような親しみやすい  
雰囲気の中で学習していくことを求めている声  
も多くありました。

みんなのニーズを探ろう④  
□**参加型意見交換会**  
—企業協働編—

企業の中には、「地域に開かれた企業」を目指  
されているところもあります。  
今回は北越地区に「企業側のメリットとし  
て、イメージアップにつながる」と快諾を受け、  
ハーモニープロジェクトと一緒に、地域の人々  
を巻き込んだ体験学習会を開催しました。  
こうした取り組みは、企業アイデンティティを  
確立していく上でも、これから増えてきそ  
うです。

みんなのニーズを探ろう①  
□**子ども体験プログラム**  
—フリースクール・まなび屋—

成人歯科保健を考えていく上で、必ずしもそ  
の対象年齢のみに着目するのではなく、広く保  
育することが必要です。

ちょうど小中学生のお子様を持つ保護者の方  
々は、年齢的に30～40代の方が多いです。子  
どもと一緒に遊んで、また、子どものうちから  
口腔に関心を持つことは大切です。  
学校や授業ではない身近なところで「健康の学  
習」を展開しました。

みんなのニーズを探ろう③  
□**参加型意見交換会**  
—青年会議所編—

企業経営とお口の健康……見聞の関心もないよ  
うに感じますが、実は密接に関わっている  
のです。もし、働き盛りの従業員が「歯が痛  
いので、会社を休みます」なんて申し出があ  
つたら、まな、「痛みは我慢できるけど、仕事  
に集中できない」ということがあるとすれ  
ば、それは生産性や効率に大きな損失を生  
み出します。企業と歯科医、お互いが連  
携を深めていくことが必要になるでし  
ょう。今回の進行は、フアシリテーター  
一研修を受けた歯医者が行いました。

## 聞くこと 学ぶこと そして試すこと

# 1. 事業推進の基本方針

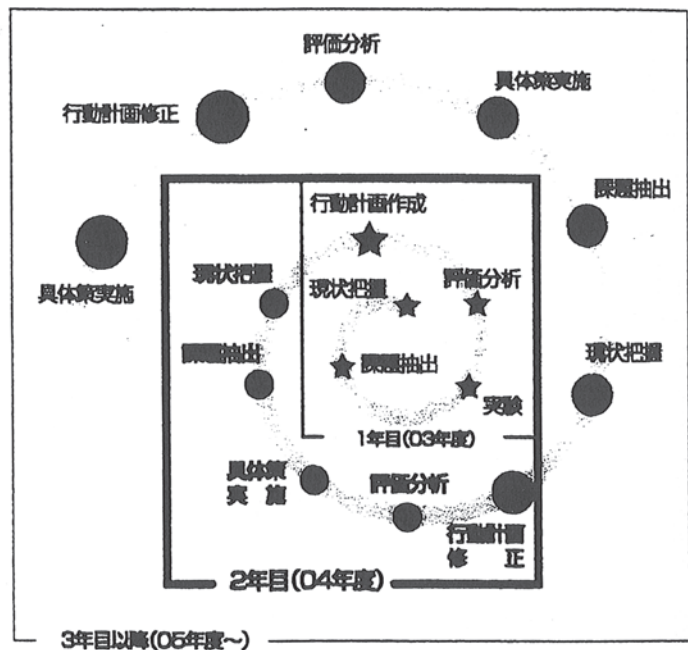
## 1) 推進体制

- 本事業は、平成15年度に8020推進財団からの助成を受けて実施した「住民参加型成人歯科保健推進モデル事業」の続編である。
- 推進にあたっては、昨年度と同様に新潟県歯科医師会、新潟市歯科医師会、新潟青年会議所、新潟大学歯学部、NPO 法人まちづくり学校の関係者によって構成された「は～もに～プロジェクト実行委員会」を組織し、事業の企画立案・実施を行った。

## 2) 推進にあたっての基本的な考え方

○本事業は、「歩きながら考える」を基本とし、様々な実験プロジェクトを実施(アクションリサーチ)しながら、その都度計画を修正して進めていくことを基本としている。

図一歩きながら考える計画づくりのイメージ



# 2. 検討経緯

○以下に、事業実施に向けた実行委員会の開催状況とその検討内容を示す。

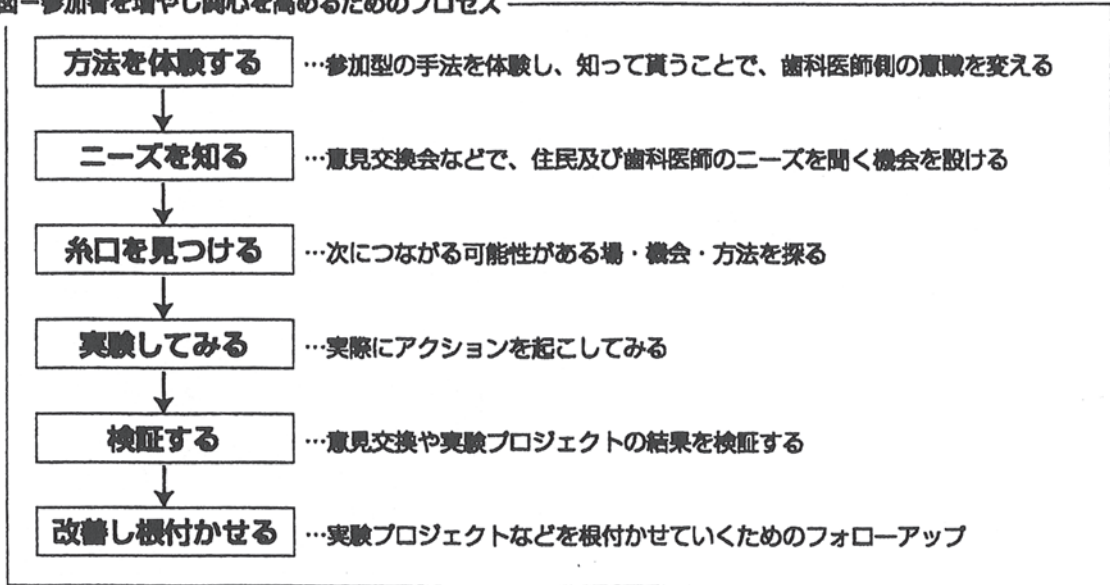
第1回	9月1日(水) 19:30~21:00 ・昨年度のふりかえり	第6回	12月7日(火) 19:30~21:00 ・各プロジェクトの企画案提示 ・実施スケジュールの確認
第2回	9月15日(水) 19:30~21:00 ・今年度プロジェクトの目的と実施内容の検討 ・事業範囲の検討	第7回	1月11日(火) 19:30~21:00 ・各プロジェクトの進行状況の報告
第3回	10月5日(火) 19:30~21:00 ・昨年度の事業の目的(位置づけ)の再確認 ・今年度プロジェクトの実施内容の検討 ・プロジェクト推進チーム分け	第8回	2月2日(水) 19:30~20:00 ・各プロジェクトの進行状況、実施の報告 (その後、懇親会)
第4回	10月20日(水) 19:30~21:00 ・各プロジェクトの進行状況の報告	第9回	3月2日(水) 19:30~21:00 ・各プロジェクトの進行状況、実施の報告 ・北越製紙「イキイキ健康学習会」の実施内容の検討
第5回	11月15日(月) 19:30~21:00 ・各プロジェクトの進行状況の報告 ・各プロジェクトの実施検討	第10回	3月30日(水) 19:30~21:00 ・今年度の反省会 ・今後の展望について

### 3. 15年度事業の検証及び16年度事業の内容・方向性

#### 1) 15年度事業の検証

- 16年度事業を企画するにあたり、まずは15年度に実施した事業の検証を行った。
- 15年度に実施した各事業の成果から、成人歯科保健を推進していく上では、以下のようなプロセスを繰り返していくことが重要であるとする。

図一参加者を増やし関心を高めるためのプロセス



- 上図を踏まえ、15年度に実施した事業の検証を行った。検証は、実施した事業がどのプロセスに該当しているのかを、実行委員会で議論した。その結果を以下に示す。

表一 15年度事業の検証結果

○: 達成できた △: 部分的に達成できた

	歯科保健関係者へのインタビュー	市民との意見交換会	にいがた食の陣での実験イベント	JC健診・意見交換会	まなび屋でのミニ講座
方法を体験する	△	△			
ニーズを知る	○	○	○		○
糸口を見つける	△	△		○	○
実験してみる			○	○	
検証する					
改善し根付かせる					

## 2) 16年度事業の内容とその方向性

○15年度事業の検証結果を踏まえ、16年度に本事業で実施する取り組みについては、以下の方向性で検討・実施していくこととした。

新潟において住民参加型歯科保健活動を普及・促進させるための活動メニューを充実・定着化させる事業に取り組んでいく。

○これを踏まえ、16年度に取り組んでいく事業及びその方向性を検討した。その結果を以下に示す。

図-16年度事業の内容と方向性

事業の意図	事業項目					
方法を体験する	市民との 意見交換会		NSG との連携		政官事務所 社保事務局 との連携	県歯科医師会 郡市会訪問 (意見交換会)
ニーズを知る		JC健診・ 意見交換会				
糸口を見つける			自治会との 連携による 歯科保健 活動	企業との 連携による 歯科保健 活動		
実験してみる			NSG との連携		広報活動 (新聞作成)	
検証する		JC健診・ 意見交換会				
改善し根付かせる	まなび屋 での講座					

□ 15年度からの継続事業    □ 16年度新規事業    □ 16年度関連事業

## 3) 16年度事業の概要とねらい

### ①市民との意見交換会の実施(継続)

- ・歯科保健関係者と市民とが一堂に会し、ワークショップ形式で意見交換を行う。

- ▶ 歯科関係者と市民との意識の差を明確化する
- ▶ 意見交換から生まれる新たな方向性の抽出

### ②まなび屋での体験学習プログラムの実施(継続)

- ・親子で楽しみながら歯のことを考えるきっかけづくりとして、実験的に体験学習プログラムを実施する。

- ▶ 親子をターゲットにした啓発プログラムの実施し、定着化させていく

### ③JCメンバー健診(実験実施)&意見交換会の実施(継続)

- ・成人歯科健診の受診率向上の一方策として、歯科健診を受診する一つのきっかけを提供する。

- ▶ 成人歯科健診の受診率向上の一方策として、定着化を図る

### ④NSGとの連携の模索

- ・NSGグループの専門学校等と連携を模索し、新たな歯科保健活動の方向性を検討する。

- ▶ 若者層(20歳前後)への歯科保健推進のための方策を探る

⑤自治会との連携による歯科保健活動

・新潟市内の自治会の協力を得て、地域ぐるみで成人歯科保健に取り組んでいくための活動を実験的に実施する。

▶ 地域を巻き込んだ住民参加型歯科保健の方法を模索する

⑥企業との連携による歯科保健活動(いきいき健康学習会 in 北越製紙)

・新潟市内の企業の協力を得て、従業員及び企業が立地する周辺地域において成人歯科保健に取り組んでいくための活動を実験的に実施する。

▶ 地域を巻き込んだ住民参加型歯科保健の方法を模索する

⑦政管事務所・社保事務局との連携

・具体的な連携方法等を模索する。

▶ 関連組織との新たな連携の可能性を模索する

⑧広報活動(新聞発行)

・本事業の取り組みを、もっと広く知ってもらうための広報活動を行う。本年度は、ニュースを作成し配布する。

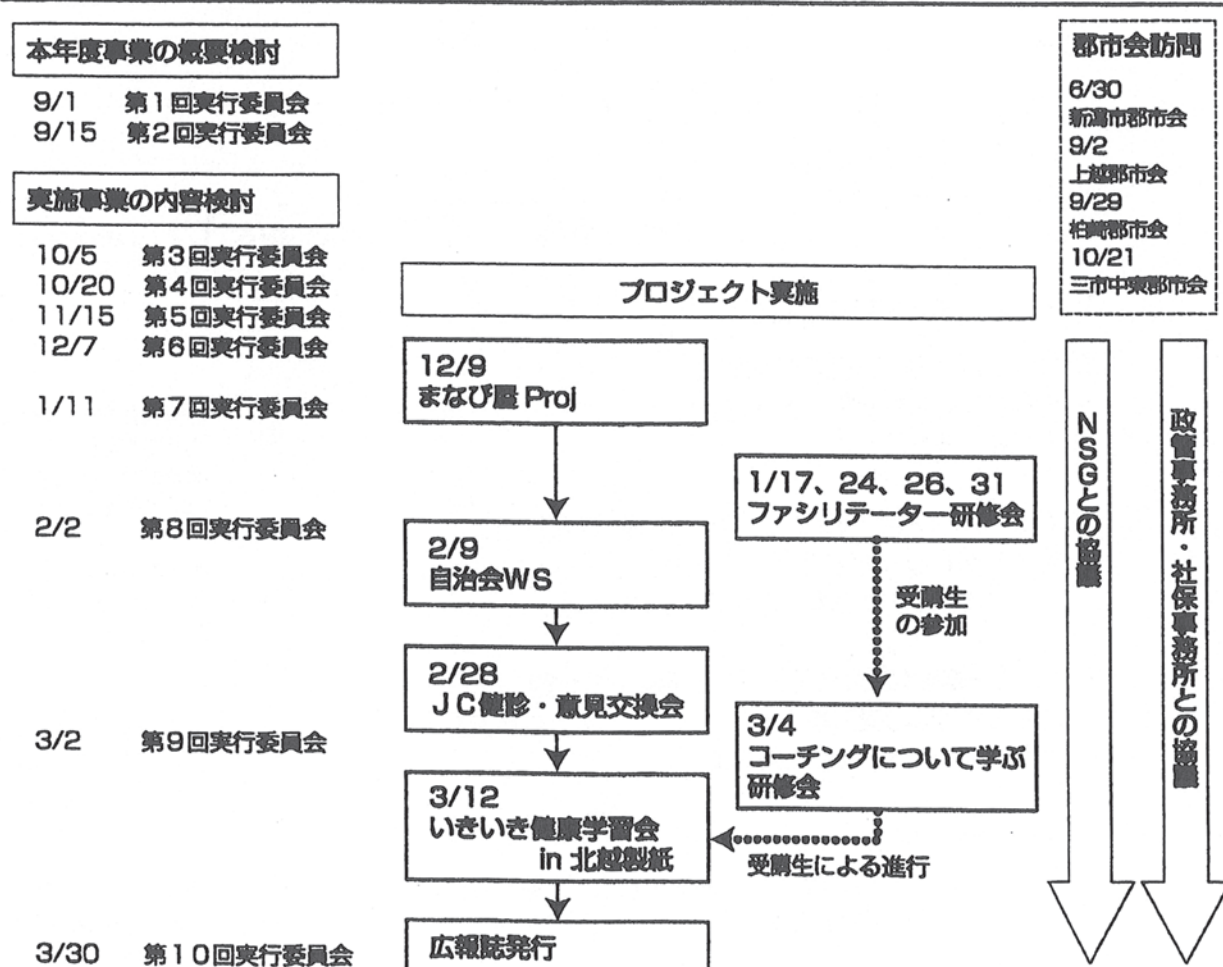
▶ 本事業の認知度の向上

※郡市会訪問(意見交換会)

・県歯科医師会が実施している事業。県内をいくつかの地域に分け、郡市の歯科医師会のメンバー(地域保健担当)が集まり、ワークショップ形式で意見交換を行うもの。

▶ 新たな人材の発掘

【実施事業一覧】



## 16年度事業を実施してみて ...

### ①市民との意見交換会の実施(ファシリテーター研修)

- ・参加者を選んだこともあり、レベルの高い研修となった。
- ・実践の場を用意したが、日程的に開業医が参加することが難しかったのは残念だった。
- ・研修により、委員会での議論の内容が変わってきた(ピンポイントでまとめる⇒話を広げていく)
- ・他地域でも実施していきたい。
- ・他の講座へのファシリテーター参加を促していくことも重要。

### ②まなび屋での体験学習プログラムの実施

- ・学生や子どもたちと仲良くなったことで、歯科保健活動のペースアップにつながった。
- ・学生にとってもよい勉強の場となった。

### ③JCメンバー健診(実験実施)&意見交換会の実施

- ・医療を受ける人と提供する人との意識の違い(=壁)が浮き彫りになった。
- ・無料歯科健診は機能しなかったため、当日歯科健診を実施した。告知方法等を今後検証していく必要がある。
- ・働き盛りで忙しい世代なので、家族サービスにつながるような仕掛けをして受診してもらうような工夫が必要。

### ④NSGとの連携の模索

- ・現時点では、専門学校(国際医療カレッジ)との具体的な連携は難しそうだが、再度プッシュしてみる価値はある。
- ・新潟は大学よりも専門学校の方が人気があるので、新たな手を模索していくことも大切。
- ・学生と医師や衛生士が気軽に話せる場づくりも必要。

### ⑤自治会との連携による歯科保健活動

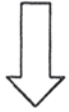
- ・地元の方(長井氏)に入ってもらったことで、ふれあい給食の方へつながったのは収穫だった。
- ・体験については好感触であり、来年も長峰地区でやってもよいのではないかと。
- ・退職された方がキーマンとなって、自治会での取り組みを広げていくことも重要(+歯科の地域活動)。

### ⑥企業との連携による歯科保健活動(イキイキ健康学習会 in 北越製紙)

- ・企業と連携できたことが収穫だった。(資金的にも人的にプラスになった)
- ・企業側も、ここまでしっかりやるとは思っていなかったようだ。  
⇒事前説明をもっとしっかりとする必要がある(住民側も手探り状態だったようだ)
- ・「あんなに楽しく住民の方とやれた会は初めて」(参加した衛生師の感想)
- ・人数に対して備品の必要数の読みが難しかった。
- ・住民と一緒に取り組むきっかけとなった。今後はどんな展開をしていいたらよいのか?担い手はどうするか?どうやって住民へ渡していくかが課題である。

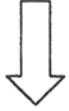
## 今後に向けて

はーもにープロジェクトは  
どこへ向かうのか？



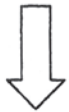
歯科医師の育成

・仲間を増やしていく

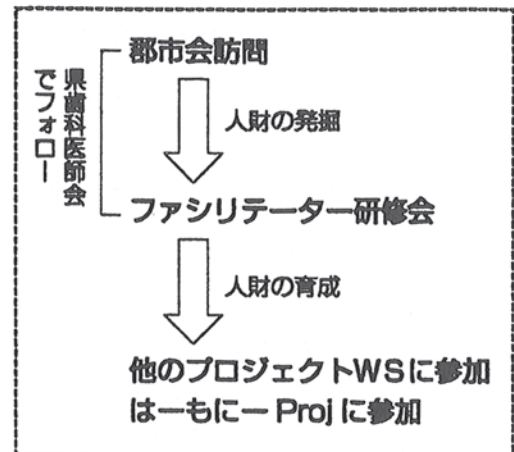


各都市会にプロジェクトを  
立ち上げてもらい支援する

ツールの整理して  
説明会を行う



各都市会が各々の地域で  
地域保健を推進



### ■今後の取り組みとして ...

○スポーツクラブへの連携を模索  
⇒モデルケースとして実施

○メディアへ情報を売り込む  
⇒NHK や NST とコラボレート



●地区  
新潟県内

●テーマ  
住民活動支援組織 (NPO) との協働による住民参加型成人歯科保健推進

(大目標) 住民参加型歯科保健活動を推進することにより住民の歯科保健向上を目標とする。

**基軸デザイン**

■達成する具体的目標 (成果) は？

昨年度米ロが見えてきたプロジェクトはさらに深めていき、新たな足場も見つけていく。そして、「住民参加型活動のネットワークを広げていくための新たな足場」と「そこでの活動の方向性 (メッセージ)」を提示する。

■成果のあらわし方は？

outputとして、活動内容の報告書。  
(H15年度と同じような内容で)

■制約条件や「参加の場」の運営における注意点は？

**組織デザイン**

■中心となる参加者は？ (誰が参加するの)

- ・一般の人たち
- ・歯科保健関係者

■「参加の場」は誰が運営するの？

- ・関係者からなる実行委員会
- ・支援組織として
- ・NPO法人まちづくり学校

■協力者・協働団体は？どんな協力が得られるの？

- ・新潟県歯科医師会
- ・新潟市歯科医師会
- ・県庁健康対策課
- ・新潟市保健所
- ・新潟大学歯学部予防歯科
- ・新潟大学歯学部加齢歯科
- ・東京歯科大学社会歯科学
- ・青年会議所
- ・新潟県労働衛生医学協会 など

●テーマ設定の背景

住民参加による8020の里づくりを進めることを最終的な目標とするが、その中でも働き盛りの青壮年層 (30代40代) を対象とした成人保健事業は従来型の保健事業の観点ともなっており、実効ある方法論を見いだせずにいる。そうしたことから、今回の新潟でのモデル事業においては成人歯科保健の向上を目指した取り組みを行う運びとなった。しかし、15年度プロジェクトを展開した結果、成人歯科保健を考えると、必ずしも成人だけでなく、子どもやその親、地域住民など、全体の中で見ていくことが必要であると検討され、そのため、対象は幅広くすることとなった。また、より現場 (地域、自治体、組織など) に密着した活動をしていく必要があるため、どの事業もインタビュー等二重調査を重視し、企画・運営を行うこととなった。

●実施予定期間

平成15年度か平成16年度

**プロセスデザイン**

「地域歯科保健」について意見交換

ワーキングスタッフで事前打ち合わせ  
2004/6/7  
2004/8/20

都市会訪問  
・新潟市都市会 2004/6/30  
・上越市都市会 2004/9/2  
・柏崎市都市会 2004/9/29  
・三市中葉都市会 2004/10/21

実施内容の検討  
2004/9/1, 15

実施内容の検討・役割分担  
2004/10/5, 20  
11/15  
12/7  
2005/ 1/11  
2/2  
3/2  
3/30

研究会  
・フアンリテーター研修会 (新潟市開催2005/1月/4回)  
・コーチングについて学ぶ研修会 (2005/3/4)

実践プロジェクト  
・まなび屋プロジェクト (2004/12/9)  
・自治会ws (2005/2/9)  
・JC健診&意見交換会 (2005/2/28)  
・いきいき健康学習会in北越製紙 (2005/3/12)  
・NSG (H17年度の実施を検討中)

今後の展望を描く

具体的な方針・方法を検討

outputの形  
今年度の記録

●目的

- ・健康を支援する (長い) システムをつくりたい。
- ・健康でいられる社会づくりをしたい。
- ・口腔の健康を考える人を増やしたい。
- ・次世代へも伝える歯科保健システムづくりをしたい。
- ・歯科医の社会的な役割を明確化したい。
- ・健康について語り合いたい。

ここを覚えておくといい！

手打ち所を探す  
【要所説明】

事業化できそうなこと、新たな展開の可能性などを検討する

【事業の枠組みの検討】

【現状把握】

【未来デザイン】

【方法立案】

2年目

# 住民参加型成人歯科保健推進モデル事業

## ～はーもにープロジェクト～

### 活動記録

#### 第1部 実行委員会

- 第1回 平成16年9月1日(水)
- 第2回 平成16年9月15日(水)
- 第3回 平成16年10月5日(火)
- 第4回 平成16年10月20日(水)
- 第5回 平成16年11月15日(月)
- 第6回 平成16年12月7日(火)
- 第7回 平成17年1月11日(火)
- 第8回 平成17年2月2日(水)
- 第9回 平成17年3月2日(水)
- 第10回 平成17年3月30日(水)

#### 第2部 実験イベント

- 平成16年12月9日(木)  
～まなび屋プロジェクト～
- 平成17年1月17日(月)  
1月24日(月)  
1月26日(水)  
1月31日(月)  
～ファシリテーター研修会～
- 平成17年2月9日(水)  
～自治会ws～
- 平成17年2月28日(月)  
～JC健診&意見交換会～
- 平成17年3月12日(土)  
～いきいき健康学習会 in 北越製紙～